

基本目標 5

すべての主体が手を取り合い、環境の保全と創造に意欲的に取り組むまちを実現する

地球温暖化や気候変動、生物多様性の損失などの国や地域を超えた喫緊の課題を解決するために、社会全体で環境への関心を高め、環境に配慮した生活や行動ができるよう、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を促進する必要があります。

また、これらの課題は複雑かつ多様化し、環境分野を超えたさまざまな主体との連携が必要であることから、市民、事業者、学校、行政等全ての主体が環境の保全と創造に関心を持ち、相互に連携して環境教育・学習や環境に配慮した活動などの施策を推進していくことが求められます。

このため、全ての主体の意識が向上するよう、環境教育・環境学習の場・機会のさらなる充実、自主的・自発的な活動の促進に繋がる情報の発信等を実施します。また、市民や事業者等が多種多様な生活様式や働き方に合わせて日常生活や事業活動のあらゆる場面に環境への配慮を織り込む仕組みを構築していきます。

さらに、本市がこれまで構築してきた各主体間のネットワークを拡充し交流を深めることで、全ての主体が手を取り合い、環境保全と創造に意欲的に取り組む都市を目指します。

■指標の状況

基本目標 5 における成果指標の状況

基本目標 5	成果指標					
	成果指標項目	基準値 (基準年度)	前年度値 (前年度)	最新値 (最新年度)	中間目標値 (令和 7 年度)	計画目標値 (令和 12 年度)
すべての主体が手を取り合い、環境の保全と創造に意欲的に取り組むまちを実現する	環境に配慮した行動を実施している市民の割合	91.5% (令和 2 年度)	92.7% (令和 5 年度)	92.1% (令和 6 年度)	92% (令和 7 年度)	92% (令和 12 年度)
	対前年度比	-	A+	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A+	A+	-	-

対前年度比の評価

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| A+ : 前年度より好転している。(+10%以上) | A : 前年度より概ね好転している。(+10%~+1%の範囲内) |
| B : 前年度と変わらない。(±1%未満の範囲内) | C : 前年度よりやや悪化している。(-1%~-10%の範囲内) |
| D : 前年度より悪化している。(-10%以下) | - : 評価なし |

対年度目標値比の評価

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| A+ : 年度目標値を大きく上回り達成。(+50%以上) | A : 年度目標値を上回り達成。(+50%~+1%の範囲内) |
| B : 年度目標値を達成。(±1%未満の範囲内) | C : 年度目標値を下回り未達成。(-1%~-50%の範囲内) |
| D : 年度目標値を大きく下回り未達成。(-50%以下) | - : 評価なし |

※ 計画目標値を達成した指標は、上記評価方法によらず、対前年比評価及び対年度目標値比評価ともに「A+」としています。

基本目標5における目標指標の状況

施策の柱	目標指標					
	目標指標項目	基準値	前年度値	最新値	中間目標値	計画目標値
		(基準年度)	(前年度)	(最新年度)	(令和7年度)	(令和12年度)
5-1 環境教育・環境学習の推進	子どもエコ検定に取り組んだことで環境について児童が興味を持った学校の割合	63% (令和元年度)	94% (令和5年度)	100% (令和6年度)	95% (令和7年度)	95% (令和12年度)
	対前年度比	-	C	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A	A+	-	-
	市と連携して環境教育・学習の推進に取り組む民間事業者等の団体数	11団体 (令和元年度)	18団体 (令和5年度)	21団体 (令和6年度)	20団体 (令和7年度)	25団体 (令和12年度)
	対前年度比	-	A+	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A	A	-	-
5-2 環境保全活動の促進	環境イベントの参加者数合計	1,404人 (令和元年度)	3,247人 (令和5年度)	3,700人 (令和6年度)	2,470人 (令和7年度)	2,720人 (令和12年度)
	対前年度比	-	A+	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A+	A+	-	-
	SDGs 企業認証数	-	244社 (令和5年度)	294社 (令和6年度)	新規認証企業数 5年間で 130社増 (令和5年度)	新規認証企業数 10年間で 280社増 (令和12年度)
	対前年度比	-	A+	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A+	A+	-	-
	環境美化活動（市民清掃活動）の参加者数	97,438人 (令和元年度)	103,893人 (令和5年度)	105,109人 (令和6年度)	100,000人 (令和7年度)	107,000人 (令和12年度)
	対前年度比	-	A+	A+	-	-
	対年度目標値比	-	A+	A+	-	-

対前年度比の評価

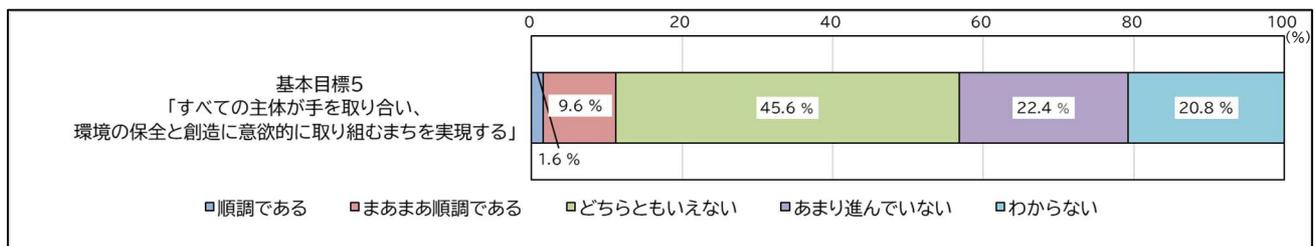
- A+ : 前年度より好転している。（+10%以上）
- A : 前年度より概ね好転している。（+10%～+1%の範囲内）
- B : 前年度と変わらない。（±1%未満の範囲内）
- C : 前年度よりやや悪化している。（-1%～-10%の範囲内）
- D : 前年度より悪化している。（-10%以下）
- : 評価なし

対年度目標値比の評価

- A+ : 年度目標値を大きく上回り達成。（+50%以上）
- A : 年度目標値を上回り達成。（+50%～+1%の範囲内）
- B : 年度目標値を達成。（±1%未満の範囲内）
- C : 年度目標値を下回り未達成。（-1%～-50%の範囲内）
- D : 年度目標値を大きく下回り未達成。（-50%以下）
- : 評価なし

※ 計画目標値を達成した指標は、上記評価方法によらず、対前年比評価及び対年度目標値比評価ともに「A+」としています。

市民アンケート結果：基本目標5における進捗状況



■総合評価及び今後の取組

①成果指標について

基本目標 5 の成果指標「環境に配慮した行動を実施している市民の割合」については、令和 2 年度の基準値 91.5%に対し、令和 5 年度は 92.7%、令和 6 年度は 92.1%と推移し、年度目標値（92%）を維持しています。評価は対前年度比・対年度目標値比ともに「A+」であり、目標を上回る達成状況です。

現状として、市民が環境に配慮した行動は、高水準で安定していると評価できます。

②目標指標について

目標指標の状況については、環境教育・学習の推進に関する指標では、「こどもエコ検定に取り組んだことで環境について児童が興味を持った学校の割合」は、令和元年度 63%から令和 6 年度に 100%へと大幅に増加し、中間目標値（95%）を超えています。

「市と連携して環境教育・学習を推進に取り組む民間事業者等の団体数」は、令和元年度 11 団体から令和 6 年度 21 団体に増加し、令和 7 年度目標値（20 団体）を達成しました。

「環境保全活動の促進」に関する指標では、「環境イベントの参加者数合計」は令和元年度 1,404 人から令和 6 年度 3,700 人へ増加し、年度目標値を大きく上回っています。

「SDGs 企業認証数」は令和 5 年度 244 件から令和 6 年度 294 件に増加し、計画目標値（280 件）を達成しました。

「環境美化活動（市民清掃活動）の参加者数」も令和元年度 97,438 人から令和 6 年度 105,109 人へ増加し、安定的に高水準を維持しています。

総じて、教育・学習分野、企業認証、イベント参加など多くの指標で目標を達成または上回っており、市民・事業者の参画が着実に進展しています。

③今後の取組

環境教育・環境学習について目標指標に対して良い結果となっていますが、成果指標の「環境に配慮した行動を実施している市民の割合」が微減の傾向であることから、環境教育の積極的な取組を継続していくことが重要です。

また、「環境美化活動（市民清掃活動）の参加者数」は増加傾向にあることから、市民主体の活動が活性化の方向にあることが窺われます。継続して、市民活動の活性化に取り組むことが大切です。

「SDGs 企業認証数」は前年度よりもさらに増加し、SDGs の理念が市内企業に浸透しつつあります。引き続き持続可能な成長を後押しすることで、認証企業の SDGs 経営推進支援を行ってまいります。

④市民アンケートから

基本目標 5 に関する市民アンケートは、「順調」「まあまあ順調」と回答した割合は約 11%と低く、「どちらともいえない」が 45.6%、「あまり進んでいない」が 22.4%、「わからない」が 20.8%でした。

市民の認知度や取組の実感が不足していることから、広報・啓発活動の強化が必要です。

5-1 環境教育・環境学習の推進

5-1-1 学校における環境教育の推進

環境を保全し、持続可能なまちを実現していくためには、環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践が必要であり、その基礎・基盤となる学校での環境教育をより充実していく必要があります。

将来を担う子どもたちが持続可能な社会の創り手となることを目指す持続可能な開発のための教育（ESD）の視点を踏まえた環境教育の促進を図るための取組を充実することにより、環境に関する理解や学び、体験を促進するとともに年齢に応じた環境教育の充実に努めます。

①学校における環境教育の推進

事業名	実施概要
学校における環境教育の総合的、継続的な取組の支援	<p>本市では、地域の自然や社会の中での体験活動を通して、環境への理解を深め、自然を尊重する心を育てるとともに、環境保全に寄与する行動がとれる児童・生徒の育成を図る環境教育の充実に向けて、環境教育資料を作成し、環境教育の推進に取り組んでいます。</p> <p>令和6年度は、環境教育資料「けやき」（中学校用）の改訂版を3,000冊作成し、市立中・特別支援学校に50冊ずつ配布しました。</p>
さいたまこどもエコ検定	<p>これまでさいたまこどもエコ検定の対象を小学生3年生～6年生としていましたが、令和6年度から小中学生まで対象を拡大しました。</p> <p>また、受検者の学年に応じて、上級（推奨：中学生）、中級（推奨：小学校4年～6年）、初級（推奨：小学校1年～3年）の3種類の問題を用意し、各学校へ実施を呼びかけています。</p> <p>さらに、市ホームページ上で問題を公開し、どなたでも手軽に検定を受けられるようにしました。</p>
ごみスクールの実施	<p>将来を担う子どもたちを対象に、一人ひとりが環境に関心を持ち、どのような取組が必要かを考え、できることから行動するためのきっかけづくりを目的にごみスクールを実施し、環境学習を推進しました。</p>
学校給食における地場産品の活用	<p>児童・生徒に地場産物や文化に関心を持たせるとともに、農業に携わる方々に感謝の気持ちを育むなどの教育的効果があること、加えて、顔の見える生産者により提供される食材は安全性が高いことから、学校給食において地場産物の活用を進めました。</p>

②学校における環境活動の促進

事業名	実施概要
学校におけるリサイクル活動の実施	<p>本市では、学校における環境活動を促進し、環境に働きかける実践力育成のための取組として、市立小・中学校においてリサイクル活動を実施しています。</p> <p>令和6年度は、市立小・中学校全校で紙などのリサイクル活動を実施しました。</p>
学校における環境美化活動の実施	<p>本市では、学校における環境活動を促進し、環境に働きかける実践力育成のための取組として、市立小・中学校において環境美化活動を実施しています。</p> <p>令和6年度は、市立小・中学校全校で校内美化活動に取り組みました。</p>
学校給食用牛乳パックリサイクル事業	<p>市立小・中学校において、資源の大切さやリサイクルへの児童・生徒の理解を深めるために、給食用牛乳パックのリサイクルを体験する事業を実施しています。</p>

5-1-2 市民等の環境学習の推進

環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践を促すためには、より多くの市民が環境への関心を高めるきっかけや、身近な場所で環境学習に取り組むことができる機会を創出し、提供していく必要があります。

公共施設における環境学習の実施や、市内の環境学習に関する情報提供を行うとともに、多様な生活様式や働き方などにも対応して、さまざまな手法によって環境学習の機会を創出します。また、民間事業者などとの連携拡充を図ることで、地域のさまざまな環境教育資源を活用し、幅広い世代の市民が環境教育・学習に取り組める機会や場所を提供します。

①環境学習の支援

事業名	実施概要
公共施設における環境学習	節水意識や川を汚さない工夫など、水環境保全意識の向上を目的とし、小学校水道教室や公民館講座を実施しています。 また、生涯学習総合センター（公民館）において、さまざまな環境学習を実施しています。 令和6年度も引き続き、施設見学や講座等の環境学習を実施しました。

【詳細データ】環境学習の実施例

令和6年度			
施設	対象	内容	参加者数
小学校	小学4年生	【小学校水道教室】 節水意識や川を汚さない工夫など、水環境の保全意識を高めていただくことを目的として実施しました。	令和6年度（2024年度）： 67校/7,515人
公民館	市民	【公民館講座】 節水意識や川を汚さない工夫など、水環境の保全意識を高めていただくことを目的として実施しました。	令和6年度（2024年度）： 7館/136人

令和6年度			
公民館名	対象	内容	参加者数
植水公民館	公民館登録団体等	【春の花いっぱい運動】 登録団体と共に敷地内の花の植替え等を行いました。	36人
	公民館登録団体等	【秋の花いっぱい運動】 登録団体と共に敷地内の花の植替え等を行いました。	21人
宮原公民館	どなたでも	【ミニガーデニング教室】 クリスマスからお正月にかけて楽しめる寄せ植えを作りました。	27人
植竹公民館	成人	【多肉植物の寄せ植え教室】 多肉植物の育て方やアレンジ方法を学びました。	10人
桜木公民館	成人	【フードロス削減！SDGs「ECO クッキング」講座】 端材を出さない料理を作り、食しながら、SDGs 目標 12「つくる責任つかう責任」について学びました。	8人
大宮南公民館	成人	【プリザーブドフラワー教室】 手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮したフラワーアレンジメント教室を開催しました。	15人
大宮中部公民館	18歳以上	【ガーデニング教室】 自然を愛する心の醸成を目的に、季節の植物による寄せ植え講座を行いました。	20人
大宮北公民館	成人	【学びのネットワーク SDGs 事業「気象・防災情報の見方と使い方」】 気象変動から地球温暖化について学びました。	41人
大宮東公民館	成人	【春の花いっぱい運動】 公民館のプランターに花を植える地域住民のボランティア活動をしました。	14人
	成人	【春の花いっぱい運動】 公民館のプランターに花を植える地域住民のボランティア活動をしました。	14人
七里公民館	公民館地域在住の成人	【園芸サロン】 地域の方々が交流しながら樹木の剪定方法等を学びました。	137人
	どなたでも	【七里公民館 園芸ボランティア募集事業】 地域の方々との交流と親睦を目的として園芸ボランティアを募集し公民館敷地の整備をしていただきました。	35人
	どなたでも	【クリスマスリース教室】 地域の交流と親睦のためクリスマスリース作りを学びました。	15人
春岡公民館	春岡地区在住の方	【地元の野鳥を観る会】 身近にいる野鳥を観察し、自然の豊かさについて知る機会としました。	15人
大戸公民館	どなたでも	【ガーデニング教室】 花の寄せ植えを学びました。	19人
	どなたでも	【環境講座「ユーカリ染めとスワッグ作り」】 環境に配慮した有機栽培・小さな生態系の環境づくりと活用方法を学びました。	32人

与野本町 公民館	どなたでも	【SDGs パネル展】 与野本町公民館および関連施設の SDGs の取り組みについてロビーにパネル展示しました。	1,087 人
下落合 公民館	18 歳以上の方	【癒しのグリーン「寄せ植え講座」】 室内で育てて楽しめる観葉植物の寄せ植えを学び参加者同士で交流しました。	17 人
	18 歳以上の方	【SDGs 環境講座「ハーブのスパイス染めとポマンダー作り」】 無農薬で育てたスパイスで靴下を染め、ハーブを使用した健康な生活を考えました。	32 人
田島公民館	どなたでも	【ガーデニング講座】 春の寄せ植え作りながら、参加者同士の交流を行いました。	20 人
土合公民館	市内在住・在勤・ 在学の方	【春のガーデニング教室】 季節の花の寄せ植えを行いました。	19 人
	市内在住・在勤・ 在学の方	【クリスマスリースづくり】 クリスマスリースの作り方を学びました。	21 人
栄和公民館	成人	【ガーデニング教室】 花木の寄せ植えをし、環境について考えました。	13 人
大久保東 公民館	どなたでも	【サクラソウの育て方講座】 さいたま市の花・桜区の花「サクラソウ」の園芸種の鉢植えを行いました。	16 人
上木崎 公民館	どなたでも	【癒しの苔テラリウム】 オリジナルの苔テラリウムを作成しました。	12 人
	どなたでも	【「小笠原諸島世界自然遺産を守るために小笠原村が取り組んでいること」から SDGs を考える。】 小笠原の自然について知るとともに、その自然を守っていくために私たちができることを考えました。	30 人
仲本公民館	どなたでも	【季節のスワッグ教室】 季節に合わせたオリジナルのスワッグ作りを学び、参加者同士の交流を図りました。	15 人
本太公民館	18 歳以上	【園芸講座/袋栽培で落花生を育てよう。】 落花生の育て方を学び、袋栽培で育てました。	13 人
南筒公民館	どなたでも	【多肉植物の寄せ植え教室】 多肉植物の育て方やアレンジ方法を学び寄せ植えを作りました。	16 人
文蔵公民館	成人	【園芸講座①「涼しげな苔玉作り」】 夏を乗り切るための、おしゃれで趣のある和のインテリアグリーンの苔玉を作りました。	16 人
	成人	【園芸講座②「立冬の寄せ植え」】 冬に向かって花が少なくなる時期でも、自分で植えた「寄せ植え」で身近に花のある暮らしの楽しみを学びました。	10 人

	成人	【園芸講座③「立春の寄せ植え」】 花が少ない時期でも、自分で植えた「愛着ある寄せ植え」で植物を愛でる暮らしの楽しみ方を学びました。	24人
	どなたでも	【ガーデニング教室】 花の「寄せ植え」の実習をまじえて、ガーデニングの基礎知識を学びました。	24人
南浦和 公民館	どなたでも	【園芸講座「多肉植物で箱庭を作ろう」】 多肉植物で箱庭制作を楽しみました。	19人
	どなたでも	【園芸講座「夏の寄せ植え教室」】 夏の花材を使って寄せ植えを楽しみました。	20人
	どなたでも	【園芸講座「クリスマススワッグづくり」】 クリスマスの時期に合わせて「クリスマススワッグ」制作を楽しみました。	28人
谷田公民館	どなたでも	【プランターで始めるガーデニング教室】 季節の花を使って、寄せ植えを楽しむ機会を提供しました。	22人
六辻公民館	成人	【自然素材で作るグリーンリース ～すてきなクリスマスに彩りをそえて～】 クリスマスリース作りを通して地域住民の交流を図りました。	11人
別所公民館	どなたでも	【SDGs 教室「私たちは温暖化による気候変動にどう向き合うか」】 温暖化問題を取り上げ、資料や写真を見ながらどう向き合うかを学びました。	12人
東浦和 公民館	成人	【園芸講座「多肉植物の寄せ植え作り教室」】 多肉植物の特性や育て方について学び、寄せ植えを作りました。	16人
善前公民館	どなたでも	【青少年若者事業／つくろう！お正月の寄せ植え】 寄せ植えを作成し、自然や草花に親しむ学習機会を提供しました。	22人
大古里 公民館	成人	【夏の寄せ植え講座】 寄せ植えの基本を学びました。	18人
	どなたでも	【見沼田んぼで里いもの収穫】 見沼田んぼで里いもの収穫を楽しみました。	83人
三室公民館	成人	【お正月の寄せ植え】 お正月の寄せ植えを作りました。	16人
	どなたでも	【SDGs 展示『Saitama Sunday Soup』】 Saitama Sunday Soup(サイタマサンデースープ)について展示を実施しました。	1,100人
岩槻本丸 公民館	成人	【お花講座Ⅰ】 季節の寄せ植えを学びました。	22人
	成人	【お花講座Ⅱ】 クリスマスリース作りを学びました。	20人
岩槻本町 公民館	成人	【ガーデニング教室①】 緑や花に親しむため、季節の寄せ植えを作る講座を実施しました。	20人
	成人	【ガーデニング教室②】 緑や花に親しむため、季節の寄せ植えを作る講座を実施しました。	24人

令和6年度			
施設	対象	内容	参加者数
大宮南部 浄化センター (みぬま見聞館)	保育園、幼稚園、小 中学校及び団体	<p>【団体見学】</p> <p>保育園や幼稚園、小中学校や一般の団体見学を随時受け入れ、し尿処理のしくみや水環境などの学習を行ない、自然庭園の観察やそこに住む生きものとのふれあいを通じて、環境への関心を持つ機会を提供しました。</p> <p>【出前講座】</p> <p>市内の保育園や小学校などを中心に出前講座を実施し、本市の市域に生息する生きものなどの紹介やふれあいを通じた体験型学習の機会を提供しました。</p>	<p>【団体見学】</p> <p>令和6年度：1,626人</p> <p>【出前講座】</p> <p>令和6年度：3,185人</p>
	小中学生、その保 護者及び市民	<p>【自然観察・環境学習会】</p> <p>環境に関する様々な話題を取り上げて学習するとともに、自然庭園に生息する動植物を観察し、自然環境への関心を高めてもらえるよう年4回実施しました。</p> <p>【エコ工作等】</p> <p>自然素材の利用やリサイクルをテーマとしたエコ工作や野鳥観察会等を実施しました。</p>	令和6年度：236人
桜環境センター	市民	<p>【環境啓発講座・イベント】</p> <p>環境に関する様々な課題を取り上げた啓発・学習や、ビオトープに生息する動植物の観察を通して、自然環境への関心を高めてもらえるよう実施しました。</p>	令和6年度(2024年度)： 4,359人
	小学校、市民及び 団体	<p>【工場棟見学】</p> <p>もえるごみを焼却・溶融処理する熱回収施設、資源物やもえないごみを処理するリサイクルセンターを見学していただくことで、ごみ処理の流れや、熱エネルギー・資源の再生利用がどのように行われているのかを学べる場を提供しました。</p>	令和6年度(2024年度)： 5,597人

事業名	実施概要
環境教育ネットワークの充実	いつでも、どこでも、みんなで環境教育に取り組むことができる仕組みづくりとして、市と民間事業者等が「さいたま市環境教育ネットワーク」を構築し、多くの市民が環境教育・学習に取り組む機会を提供しました。

②環境学習情報の発信

事業名	実施概要
環境学習情報の提供	<p>本市では、さまざまな手段・媒体を通して、環境に関連する情報を市民に公開しています。</p> <p>「令和6年版 さいたま市環境白書」では、令和5年度の市の環境の現況及び市が実施した環境に関する取組をとりまとめ、報告しました。</p> <p>また、「さいたま市統計書」は、本市の自然・人口・経済・社会・教育などの各分野における統計資料を収録しました。</p>

5-2 環境保全活動の促進

5-2-1 環境活動の促進

環境を保全し、持続可能なまちを実現していくためには、専門的な知識を持つ人や団体、地域のことを良く知る人や団体、体験活動や実践活動を指導できる人や団体等を発掘、育成するとともに、さまざまな主体と連携・協働し、さまざまな環境分野における活動を促進していく必要があります。

市民、市民活動団体、事業者等の環境活動を促進するため、さまざまな支援を行うとともに、異なる主体同士のパートナーシップや、環境活動のネットワーク化を支援することで、取組を効果的に推進していきます。

①環境活動の普及・啓発

事業名	実施概要
環境啓発事業	市民の環境保全への関心と理解を深め、自発的に環境にやさしいライフスタイルが実践されるよう、様々な方法で、関連情報を継続的に周知・啓発しました。
「さいたま市環境会議」の活動	さいたま市環境会議は、環境学習・環境保全の推進による啓発活動、市民、事業者、行政のパートナーシップ及びネットワークづくりなどで地域から本市の環境保全の推進を図ることを目指しました。

【詳細データ】「さいたま市環境会議」の活動実績

令和6年度		
年月	項目	活動概要
7月	さいたま打ち水大作戦	毎年、市や県等と共催により「さいたま打ち水大作戦2024」を開催し、「涼エコライフ」の普及啓発を行いました。
10月	環境フォーラム	さいたま市主催の環境フォーラムに参加し、活動を広く紹介し環境保全について啓発を行いました。
通年	環境学習会	生きもの調査の研修会を開催しました。
通年	みんなの生きもの調査	さいたま市と協働で「さいたまみんなの生きもの調査」を進めました。新たな調査員が参加しました。
通年	情報の発信	ホームページにて、活動報告などの情報を発信しました。

②環境美化の推進

事業名	実施概要
環境美化の推進に係る事業	ポイ捨てや路上喫煙を防止するため、環境美化重点区域及び路上喫煙禁止区域において環境美化指導員による効率的かつ重点的な巡回指導を実施しました。 また、老朽化した標示物の撤去・更新を行いました。

③市民・団体等の活動への支援

事業名	実施概要
浦和区秋のごみゼロ運動	浦和区では、「みんなでごみ拾い きれいな浦和区にしましょう」を目的とし、浦和区自治会連合会と共催で、浦和区民を対象に地域の清掃活動「浦和区秋のごみゼロ運動」を毎年実施しています。
見沼田圃の美化活動（緑区）	緑区内にある貴重な財産であり、広大な緑地空間である「見沼田圃」を保全するため、区民との協働による清掃活動を実施しました。
花いっぱい運動の推進	市民との協働により市民花壇等への花苗の植栽及び管理作業を行い、花いっぱいのもちづくりを推進しました。
緑のボランティア団体の活動推進事業	地域で身近なみどりを愛し、みどりに親しみ、みどりから学び、みどりを保全するという考え方をより多くの人々に広めるために、緑のボランティア団体の活動を推進しました。
団体資源回収運動補助事業	団体活動の活性化と資源物の有効利用を図るため、資源物を定期的に回収する運動を行った市民団体に補助金を交付しています。
さいたま新都心クリーン作戦の実施	さいたま新都心地区の環境美化を目的とし、同地区内の事業者、地権者等を対象に清掃活動を実施しました。
綾瀬川クリーンプロジェクト in 美園の開催	美園地区を流れる綾瀬川の美化、環境保全を目的とし、ボランティアを中心に綾瀬川沿いの遊歩道及び大門上池調節池広場の清掃活動を実施しました。

④事業者の環境配慮の促進

事業名	実施概要
環境研修会	近年の環境問題のポイントや環境行政の取組を紹介し、工場・事業場の環境保全活動の一助とすることを目的として、工場・事業場の環境保全担当者を対象に、研修会を実施しました。

【詳細データ】環境研修会参加者数の推移

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
環境研修会参加者数	人	-	-	42	64	60

事業名	実施概要
ISO 認証取得支援事業	（公財）さいたま市産業創造財団が実施する窓口相談や専門家派遣等を通じて、企業におけるISO取得を含む支援を行いました。
中小企業支援事業	（公財）さいたま市産業創造財団が実施する窓口相談や専門家派遣等を通じて、企業における環境対策を含む支援を行いました。
大規模小売店舗立地事務事業	大規模小売店舗の立地に関し、その周辺地域の生活環境の保持のため、大規模小売店舗立地法に基づく届出を受理し、施設の配置及び運営方法について適正な配慮が実施されるよう指導を行いました。

【詳細データ】大規模小売店舗立地法に基づく届出数の推移

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
届出数	件	40	30	30	29	26

事業名	実施概要
工場立地法届出受理事務事業	工場立地法に基づき、一定規模以上の工場を設置する場合などの事前協議や届出の受理を行いました。 また、その内容が法の準則に適合しない場合には勧告・命令等を行いました。

【詳細データ】工場立地法に基づく届出数の推移

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
届出数	件	2	1	2	0	1

事業名	実施概要
相談体制や研修機会の充実	令和6年度は、令和6年5月21日及び令和7年2月7日にさいたま市環境保全連絡協議会が主催した環境研修会に講師を派遣しました。 講演内容は次のとおりです。 【令和6年5月21日】 ・エコ検定に挑戦しよう ・ゼロカーボンシティの実現に向けたさいたま市の取組について ・産業廃棄物の定義と区分について 【令和7年2月7日】 ・さいたま市が実施している環境学習の紹介
SDGs 企業活動推進事業	持続可能な開発目標（SDGs）の理念を尊重し、経済・社会・環境の3つの分野を意識した経営活動を推進する市内企業を「さいたま市 SDGs 認証企業」として認証し、持続可能な経営に取り組む市内企業支援を行いました。

⑤連携・協働の推進

事業名	実施概要
「さいたま市環境フォーラム」の開催	市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報を交換し交流する場として「さいたま市環境フォーラム」を開催しました。
「さいたま打ち水大作戦」の開催	環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践を促すため、市民活動団体や事業者と協働・連携し、夏を涼しく過ごすための昔ながらの工夫として、打ち水大作戦を実施しました。
SNS を活用した環境情報の発信	環境教育 Instagram (インスタグラム) のアカウントで「環境教育・学習に使える情報」を紹介しました。

5-2-2 国際協力の推進

SDGs では、国際社会全体として将来にわたって持続可能な発展ができるよう取り組んでいくことが必要とされています。

本市の優れた設備と技術を有する環境関連施設や、これまでの環境の保全と創造への取組の経験を活かすとともに、市内の事業者などとも連携することにより、環境分野における国際協力に貢献します。

①国際協力の推進

事業名	実施概要
JICA の研修事業への参画	九都県市首脳会議環境問題対策委員会幹事会において、JICA が企画する途上国の将来を担う青年層を対象とした研修事業に参画しています。 令和 6 年度は、本市では大宮南部浄化センターを視察しました。